

いたばしプレイフル広場

板橋区

プロジェクト実施者 プレイフルいたばし

実施日時

令和6年 11月24日（日）10:00～15:00

令和6年 12月21日（土）10:00～15:00

実施場所

高島平駅（東口）南側緑地広場

都立赤塚公園 バーベキュー広場

プロジェクト概要

「むかし遊び」「だれでも遊び」「はいざい（こうさく）遊び」「えほん遊び」「おえかき遊び」「しぜん遊び」「火をつかった遊び」など、日常であまりしていない（できない）アナログな遊びを行います。今回のプロジェクトを通じて、高島平地域の子供達の遊びと地域に住まう全ての人達の日常を豊かにしていく活動を展開します。

イベント詳細

11月24日（日）は高島平駅（東口）南側緑地広場の遊歩道のスペースで、遊びゴコロ溢れるプレイフル広場を開催します！

- ・「むかし遊び」けん玉・コマ・ベーゴマ・シャボン玉・メンコ
- ・「だれでも遊び」0才から親子で遊べるおもちゃと育児相談コーナー
- ・「はいざい（工作）遊び」作って遊ぶリサイクルおもちゃ工作
- ・「えほん遊び」インクルーシブ（外国語・手話）な読み聞かせ＆おうちにある絵本を持ってきての交換会
- ・「おえかき遊び」緑道にチョークでお絵描きなどを行います！

12月21日（土）は都立赤塚公園のバーベキュー広場で豊かな自然も満喫できるプレイフル広場を開催！11月の遊びに加え、

- ・「しぜん遊び」自然と触れ合うネイチャーゲームのフィールドビンゴ
- ・「火をつかった遊び」火に親しみ火を学ぶ火起こし体験なども行います。

プレイフル広場では、その日だけの特別な遊びをするのではなく、緑道や公園などその場のルールを守り工夫しながらみんなで楽しめるアナログな遊びを行います。イベント当日だけではなくイベント後もその場が地域の遊びの場として継続することを目指します。

プロジェクトへの想い

本プロジェクトでは、遊びと対話を通した多世代交流の場をつくるために、板橋区高島平地域にある緑道と公園において、日常ではあまりしていない（できない）アナログな遊びを、普段の公園ルールの中で工夫して提供します。そうすることで、子供達が自ら進んで集中しながら遊び込む主体的な成長を促し、子供にとって大切に豊かな遊び体験は日常の中でも得られることを体感してもらいます。公共空間を自由に使うためには、子供自身が自分達にも責任があることを意識するとともに、子供に関わる大人の遊びに関する意識を変えていく必要があります。板橋区高島平地域の日常の中で緑道や公園が遊び場として継続していくことを目指します！



いたばしプレイフル広場

子供の感想

- 小学3年生：自ぜんの遊びができて楽しかったです。はっぱのプールもあって楽しかったです。
- 小学3年生：やった事のないあそびややった事あるあそびとかが楽しかった！
- 小学4年生：家では出来ないことができてよかった。
- 小学4年生：くるのがおそかったけど、そうじがたのしかった。
- 小学4年生：また来たい 帰りたくない

保護者の感想

- 子どもは初めての火起こし体験で、なかなか火が点きませんでしたが、あきらめずに挑戦する姿が見られました。真剣な眼差しでした！
- はじめてけん玉検定をさせていただき、喜んでいました。新しい技も教えていただき、けん玉に対する挑戦心が芽生えたようです。
- 親も童心に返って、子どもと一緒に遊べて、とても楽しかったです。ありがとうございました。
- 支援学校に在籍する知的障害の子どもと参加しました。他の子と楽しむ姿が見られて嬉しかったです。
- スタッフの方が子どもに優しく接してくれるイベントだったので嬉しかったです。ありがとうございます！
- 子どもが普段出来ない経験ができて、楽しんでる姿を見ることができ、親としても満足です。ぜひこのようなイベントを定期的にしていただきたいです。
- ありがとうございました。

主催者の感想

「いたばしプレイフル広場」は、特別な遊びではなく日常的にできるはずの遊びでありながらも、現代の日本の子ども達がおかれている状況下では日常的に行われていない、アナログな遊びを実施しました。

肌寒い季節ではありましたが、当日は0才児から高齢の方までの幅広い年齢層や外国籍の方や障がいをお持ちの方など多様な大勢の方にご参加いただき、遊びと対話を通した多世代交流の場となりました。

遊びの一つひとつは日常的にできる遊びではありましたが、その色々な遊びを多様な年齢の人が集う場で並行的に行うことで、子ども達は自ら進んで遊びを選び、気に入った遊びに集中して取り組むことで楽しみながら主体的な成長の機会となる豊かな遊びの時間になったのではないのでしょうか？

今回の遊び場の開催は、子ども達が遊びを主体的に楽しみ、保護者のみならず、地域の大人たちも共に遊びを分かち合う、地域にとっても大きな意義のあるものとなったと思います。

事業終了後もその場が地域の遊びの場として継続していく為に、子ども達自身が自由と責任を意識する場づくりをするとともに、子どもに関わる地域の大人達の遊びに関する意識を変えていき、遊びゴコロ溢れる街を目指します。

